

環境対策課長の仕事宣言！

環境対策課長 榎原聖二

①重点施策項目名	環境保全活動を進めます
②目標値	環境美化活動参加者数 〔平成30年度〕現状値1,210人⇒平成30年度末1,400人 〔後期基本計画期間〕平成26年度530人⇒平成32年度末1,800人
③今年度の取組方針	恒例である河川清掃や空き缶拾いなどの環境美化活動、各種環境出前講座、ごみ処理施設見学会、水生生物調査の開催をはじめ、今年度は、現在、8地区のうち3地区のまちづくり推進協議会で行われている環境美化活動への車両や職員の派遣による支援を残り5地区にも呼びかけて拡大を図り、市民参加と環境啓発をさらに進めます。
④今年度の取組結果	
⑤数値目標の結果	
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

環境対策課長の仕事宣言！

環境対策課長 榎原聖二

①重点施策項目名	ごみ減量化とリサイクルを進めます
②目標値	<p>市民1人1日当たりの資源物以外のごみ排出量 〔平成30年度〕現状値 842g/人・日 ⇒ 平成30年度末 842g/人・日</p> <p>〔後期基本計画期間〕 平成26年度 908g/人・日 ⇒ 平成32年度 883g/人・日</p>
③今年度の取組方針	<p>平成30年度は、昨年度事業実施を目標に掲げ未だ実施に至っていない、まちづくり推進センター敷地内へ古紙回収ボックスを設置する新たな事業について早期の課題解決を図り、年度内に1地区で実証実験の実施を目指します。また、事業所から排出される廃棄物の適正処理を進めるため、昨年度に引き続き、事業所への戸別訪問により、適正処理とリサイクル推進の働きかけを行う一方、鳥栖・三養基西部環境施設組合と協力して溶融資源化センターに持ち込まれる事業系一般廃棄物の抜き打ち検査を実施し、産業廃棄物の混入など不適正処理の防止を図ります。また、ごみ減量化とリサイクルの推進には、市民生活の中での取り組みが不可欠であることから、出前講座や広報紙をはじめさまざまな機会をとらえて、家庭でできる身近な対策など一層の市民への啓発に努めます。</p>
④今年度の取組結果	
⑤数値目標の結果	
⑥成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

環境対策課長の仕事宣言！

環境対策課長 榎原聖二

①重点施策項目名	次期ごみ処理施設建設を進めます
②目標値	〔平成32年度〕次期ごみ処理施設建設着手
③今年度の取組方針	次期ごみ処理施設建設の事業主体となる佐賀県東部環境施設組合が昨年11月に設立され、運営を開始。平成32年度に建設着手に向けて平成30年度は建設地周辺において実施する環境影響評価の現地調査が実施され、事業者（メーカー）選定のための要求水準書（仕様書）が策定されるなど重要な年度となることから、設置自治体として事業推進に積極的に協力します。
④今年度の取組結果	
⑤数値目標の結果	
⑥成果と課題 （次年度に向けて）	

◇所管部長の指示